



平成 24 年 12 月 6 日
東北大学災害科学国際研究所

「東日本大震災アーカイブシンポジウム」
—過去と現在の記憶・記録を未来へ伝えるために—
を開催します。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災から 2 年が経過しようとしており、震災記憶の風化が懸念されます。どのように震災アーカイブを未来へ伝えていくかを目的として、本シンポジウムでは、東日本大震災アーカイブプロジェクトだけにとどまらず、これまでの震災アーカイブプロジェクトに携わってきた方々をお招きし、それぞれの取組みや課題を共有します。最後に、パネルディスカッションを通じて、どのように震災アーカイブを活用していくか、未来へ伝えていくか議論を行います。

つきましては、皆様からもこの催しを広く広報いただきますとともに、当日、ご参加の上、紙面、番組等でご紹介いただければ幸いです。

記

主催：総務省（予定）、東北大学災害科学国際研究所、東北大学附属図書館

後援：国立国会図書館（予定）

日時：平成 25 年 1 月 11 日（金）13:00～17:30 ※会場 12:30

場所：仙台国際センター大会議室（〒980-8576 仙台市青葉区青葉山無番地）

プログラム：別紙のとおり

定員：200 名（先着順、事前申込み必要。当日は空席がある場合のみ受付。）

申込：事前申込み要。申込み専用フォーム HP から受付（<http://www.dcrc.tohoku.ac.jp/archive/>）。

参加費：無料

※当日の取材申込みについては、メールに、①氏名、②機関名、③メールアドレス、

④ムービー撮影の有無を記載いただき、下記問い合わせ先までご連絡ください。

東北大学災害科学国際研究所
情報管理・社会連携部門
災害アーカイブ研究分野
責任者：今村文彦（教授）
担当：柴山明寛（准教授）
佐藤翔輔（助教）、
永村美奈（研究員）
TEL&FAX 022-795-4842
dcrcarchives@dcrc.tohoku.ac.jp

「東日本大震災アーカイブシンポジウム」

—過去と現在の記憶・記録を未来へ伝えるために—

日時：2013年1月11日（金）13:00～17:30 ※開場 12:30

場所：仙台国際センター大会議室 萩

主催：総務省（予定）、東北大学災害科学国際研究所、東北大学附属図書館

後援：国立国会図書館（予定）

主旨：3月11日に発生した東日本大震災から2年が経過しようとしており、震災記憶の風化が懸念されます。どのように震災アーカイブを未来へ伝えていくかを目的として、本シンポジウムでは、東日本大震災アーカイブプロジェクトだけにとどまらず、これまでの震災アーカイブプロジェクトに携わってきた方々をお招きし、それぞれの取組みや課題を共有します。最後に、パネルディスカッションを通じて、どのように震災アーカイブを活用していくか、未来へ伝えていくか議論を行います。

—プログラム—

司会：東北大学災害科学国際研究所 佐藤 翔輔

【オープニング】

13:00-13:10 開会の挨拶と趣旨説明

東北大学災害科学国際研究所 今村 文彦

【阪神淡路大震災の取組み】

13:10-13:40 「阪神大震災を記録しつづける会の取組みについて（仮）」

阪神大震災を記録しつづける会 事務局長 高森 順子

13:40-14:10 「西宮市デジタルライブラリー 阪神・淡路大震災の取組みについて（仮）」

西宮市 総務総括室情報公開課 米田 実

14:10-14:40 「北淡震災記念公園 野島断層保存館の取組みについて（仮）」

北淡震災記念公園 野島断層保存館 米山 正幸

14:40-14:55 休憩

【東日本大震災の取組み】

14:55-15:25 「総務省および国立国会図書館の取組みについて（仮）」

総務省/国立国会図書館 登壇者調整中

15:25-15:35 「青森県の事例紹介（仮）」

八戸工業大学 登壇者調整中

15:35-15:45 「岩手県の事例紹介（仮）」

岩手大学 登壇者調整中

15:45-15:55 「宮城県の事例紹介（仮）」

東北大学/河北新報
東北大学 災害科学国際研究所 柴山 明寛

15:55-16:05 「福島県の事例紹介（仮）」

慶應義塾大学大学院 菊池 尚人

16:05-16:20 休憩

【パネルディスカッション】

16:20-17:20 登壇者によるパネルディスカッション

進行：東北大学災害科学国際研究所 今村 文彦 参加者：登壇者全員

【クロージング】

17:20-17:30 閉会の挨拶

東北大学災害科学国際研究所 今村 文彦